

お子様が安全に安心してインターネットを利用するために保護者ができること

平成27年3月



1 保護者の理解と見守りが、お子様を守ります。

インターネットは、世界中の様々な情報を調べることができる便利なものです。近年は、学校教育でも利用され、**青少年にとって欠かせない存在**となっています。

しかし、インターネットの利用によって、性表現や暴力表現、危険ドラッグのほか、**青少年の健全な成長に悪い影響を与える違法・有害情報に触れる可能性**があります。また、コミュニティサイトの利用などにより、**友達同士のトラブルや事件・事故に巻き込まれる**こともあります。たとえいたずらのつもりであっても、安易に犯行予告などを行えば、**犯罪の加害者側**になることもあり、行為によっては**罰せられる場合**もあります。

このようなリスクを減らし、安全・安心なインターネット利用環境を実現するために、「**青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律**（青少年インターネット環境整備法）」が施行されています。

青少年の適切なインターネット利用を促すためには、**保護者がインターネットの特徴を理解し、ご家庭内でインターネットの利用について話題**にしなが、**青少年を守ることが大切**です。

● 保護者ができる3つのポイント

発達段階に応じて、

- (1) 適切にインターネットを利用させる
- (2) 家庭のルールを作る
- (3) フィルタリングなどを設定する



お子様の将来のために

インターネットを「**使いこなす力**」は、これからの社会で必要不可欠です。交通安全ルールと同じように、自分自身を守りながら、**賢く有効に**使わせましょう。

そのためには、**お子様の成長に合わせて**、インターネットに関する**知識・技術、情報モラルやコミュニケーション能力**をそれぞれ身に付けさせることが大切です。

◎お子様にインターネットを利用させる際の保護者の責務が規定されています。

青少年インターネット環境整備法第6条において、**保護者は、青少年のインターネット利用の状況を適切に把握するとともに、利用を適切に管理し、適切に活用する能力の習得の促進に努めること**とされています。お子様の将来のため、保護者の役割をこのリーフレットで再確認してみましょう。

2 お子様がどんな使い方をしているかご存知ですか？

- お子様にもどのような**機器**を持たせていますか？ **どのようにインターネットを利用**させていますか？
- お子様もどのような**場所・環境**で、どのような**サービス**を利用しているかご存知ですか？ 例えば、街なかの**無線LAN回線 (Wi-Fi)**などを利用することはありますか？
- 保護者の目が届かない場合**でも、**親子で話し合っ**てルールを決めていますか？ **フィルタリング**などを設定していますか？

チェックを入れて確認してみましょう。

近年、スマートフォンをはじめ、身近なインターネット接続機器が増えています。例えば、**タブレット端末や携帯音楽プレイヤー**にも**スマートフォン**と同じような**サービスやアプリ**を利用できる**機器**があります。



- 上記のような**モバイル端末の普及**により、**お子様のインターネットの使い方**が急激に**変化**しています。メール、ゲーム、SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）、チャットや掲示板（特に書き込み）、交流サイト（特に知らない人）、ゲームやアプリでの課金など、**保護者が気づいていない使い方**をしていませんか？

□ 自撮りによる画像や動画など

スマートフォンなどのカメラ機能を使って**自分自身を撮影**（自撮り）し、その画像や動画を友達に送ることや、多数の閲覧者向けにネット配信・共有することが増えています。自撮りした画像に**位置情報 (GPS)**が入っていたり、自宅などで撮影して、地域を特定しやすい背景や学校の制服が写り込んだりしていると、**意図せず個人が特定され、トラブルや事件に巻き込まれる可能性**もあるので注意が必要です。また、たとえ交際相手であっても、**下着姿や裸の画像などを送ることはやめましょう**。送ってしまった後に削除したいと思っても、他人の手に渡った画像などは、完全には削除できません。



□ 犯罪の加害者側にならないために

フラれた際に復讐のつもりで、交際相手の下着姿や裸の画像などを他人に送ったり、知り合いから送られてきたそのような画像などを転送することはやめましょう。「**私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律**（いわゆる**リベンジポルノ法**）違反」や「**児童買春・児童ポルノ禁止法違反**（提供罪）」となる場合があります。

□ コミュニケーションアプリの利用

無料通話やグループでのメッセージが利用できる**コミュニケーションアプリ**が増えています。複数人でのグループ利用ができることから、ちょっとした誤解などから大きなトラブルに発展する場合があります。また、**IDを取得して掲示板などで交換**すると、**見知らぬ人との出会いにつながる可能性**があるため注意が必要です。

□ ネットの長時間利用

モバイル端末は、いつでもどこでもインターネットを利用できるため、**意識せず**に**長時間利用**してしまう人が**増えています**。お子様がインターネットを使わないと不安になったり、イライラしたりという様子を感じたら、怒って追い込むのは逆効果。**親子のコミュニケーションを増やし徐々に遠ざけながら見守り**ましょう。